
野々市市と富木医療器(株)とのウェルビーイングな社会の実現に関する連携協定締結式

野々市市と富木医療器株式会社は、健康・幸福増進と地域活性化の取り組みを相互に連携しながら推進し、ウェルビーイングな社会の実現に寄与することを目的として、協定を締結いたしました。

調印式は令和5年11月6日(月)に野々市市役所(野々市市三納一丁目1番地)にて調印式が行われ、野々市市長 栗貴章氏、富木医療器株式会社 代表取締役社長 荒井博史が協定書に署名を行いました。



連携協定に調印した野々市市 栗貴章市長(左)と富木医療器 荒井博史社長(右)

ウェルビーイングとは心身ともに健康で、持続的に幸福な状態の概念を指しています。

「健康」だけに留まらず、さらにその先の「健幸」へ、ヘルスケア業界の一員として、野々市市や地域の団体・大学、そして協力企業と連携・協力しながら、まずはウェルビーイングのきっかけ作りとなる取り組みを行っていく予定です。

富木医療器は今期、関わる人々と、価値を「共創」する人材育成ビジョンを掲げました。

子どもから若者、お年寄り、患者、医療従事者、誰もが生き生きと輝くことができるサステナブルでウェルビーイングな社会の実現のために、野々市市との連携により、皆がウェルビーイングを得られるような、価値共創の連鎖を目指してまいります。